

# ★これも気になる一般質問

各ページに掲載できなかった、これだけは言いたいことを集めて

**Q 子どもの虐待は、家庭内暴力（特に配偶者間暴力）に起因していることが多い。この問題の解消に向けて、町の考えを問う。**

（藤岡 議員）

**A** 被害者の心情に寄り添い、安全の確保や一時保護が必要な場合は、県福祉総合支援センターへ引き継いでいる。伊予警察署、伊予医師会等の関係機関で構成される要保護児童対策地域協議会を置き緊急性、重大性に応じた援助方法を協議し、児童虐待に対応していく。

**Q 居住者支援協議会とは。** （影岡 議員）

**A** 住宅確保要配慮者（高齢者・障がい者世帯・子育て世帯）の民間賃貸住宅への入居の促進を図るため、県と市町の福祉及び住宅部局、不動産関係団体、福祉団体等が構成員となり、住宅情報の提供をはじめとした支援を円滑に行う組織として、平成27年3月16日に設立された。

居住支援サービスの内容は、家賃債務保証サービス、見守り、生活支援（家事・買い物・配食等）である。

**Q 提案制度の成果と取組み内容は。**

（加藤 議員）

**A** 松前町では、「松前町職員の提案」と「明日のライフタウンプロジェクト」の2つの提案制度を設けています。平成29年度は、いずれも提案はありません。平成30年度は、松前町職員の提案が1件あり、提案制度を活性化するため、積極的に参加し、提案を行った職員に対しては、人事評価に加算するなどの制度としています。提案制度を通じた職員の意識改革や人材育成により、効率化や住民サービスの向上を図ります。

**Q 残業時間短縮への対策は。** （加藤 議員）

**A** 過去3年間の支給額は、平成27年度は2万2千時間で5200万円、平成28年度は2万9千時間で6300万円、平成29年度は3万時間で6400万円と、毎年増加。年々増加する事務事業の対応と、職員数の減少が関係して、全体の時間外勤務が増加した。今後は正規職員数220人に近づけるため、数年に分けて、計画的に採用職員数を増やしていきたい。



早瀬 武臣 議員



岡井 馨一郎 議員

議員15年在職  
おめでとうございます。  
地方自治の発展に顕著な功労があつたお二人が  
自治功労者表彰を受賞されました。

自治功労者表彰